

10月30日(木) 3h 理科(3年6組)

今日の授業は2回目の中和実験，木村先生は，実験の前に水の他に何ができるか生徒に予想させました。その後，生徒はお互いに頭を近づけて，夢中になって実験をしました。木村先生は生徒の疑問や気づきを大切にした授業をいつも心がけています。



本校では，実験をする前に自分なりの予想を立てさせたり，実験結果からどのようなことが分かったか考えさせる授業づくりを目指しています。



10月29日(水) 4h 英語(2年5組)

英語の授業，めあては「Today's goal」で示されます。塩満先生は理解しやすい板書，ICTの活用，さらに多様な活動を通して，めあての「不定詞」に迫りました。授業では，可能な限り一人ひとりにコミュニケーションをさせ，最後は小グループを活用して，授業のまとめを行いました。ハイタッチの写真が上手く撮れなかったことが残念でした。

本校では毎月の教科会で指導方法の工夫・改善を行っています。



10月28日(火)4h 保健体育(2年78組)

今日の授業はバスケットボール，試合を行っていない生徒は，真剣にコートの中にいるプレイヤーの動きに注目しています。バスケットボールには多くのルールがあり，プレーの瞬間にルールの説明をしないと，理解が深まりません。森川先生は試合すること，そしてそのプレーを見ることで，授業の目標「バスケットボールのルールを理解する」に迫りました。



10月28日(火)4h 保健体育(2年78組)

生徒が笑顔でソフトボールをしています。使うボールは柔らかいボールです。最初はキャッチボール，その後は試合を行いました。ピッチャーが投げず，同じチームのメンバーがトスします。ベースも2塁までと，ルールも単純にして，女子にとって難しい球技に挑戦しています。牟田先生の工夫で，毎回技術が向上しています。



10月27日(月) 4h 社会(3年1組)

社会の時間，生徒は御堂先生の説明を聞き漏らすまいと必死で聞いていました。今日の授業の目標は「国会のはたらき」，家庭での収入・支出を例に国家予算について，ニュース映像を利用して弾劾裁判を分かりやすく説明しました。さすが3年生です。「聴く」ことができるので，御堂先生が工夫して作られた資料が生きてきます。



10月24日(金) 4h 社会(2年2組)

テレビ画面に映る絵や写真の資料に、食い入るような視線が注がれています。自然に、今日の目標である「市民革命」について、生徒の興味が上がります。「資料といかに出合わせるか」、田中先生はいつもこの部分を大切にします。どんな資料に、どう出合うかで、授業が大きく変わります。資料を通して、生徒は時代背景等、多くのことを学びました。



10月23日(木) 4h 英語(3年5組)

英語科は今週2回目の公開授業です。他教科の先生も来られ、教室は満員です。さすが3年生、高い意識を持ち、意欲的に学習しています。冨永先生の指示にすぐに反応し、多様な活動ができるのも、3年間の積み重ねがあるからです。ペアワーク、4人組、さらには学級全体での交流等、工夫された活動を通して、授業の目標に迫りました。



1 0 月 2 1 日 (火) 1 h 英 語 (2 年 4 組)

今日は中司先生の授業公開です。多くの先生が見守り，生徒はいつもより緊張しています。授業の最初は，**Top of the world**を歌い，その後，全員で声を出し，単語をつなぐ，単語リレーを行いました。小テストで文法を確認し，カードを持ち，友達と質問し合いました。今日の目標には，多様なコミュニケーションを通して，迫りました。



10月20日(月) 6h 総合(2年6組)

本校では言語・数理運用科の授業を通して、生徒に「情報を取り出す力」「思考・判断する力」「表現する力」を育成しています。今日の授業では、小グループで作ったデザインを発表しました。全員が発表者に集中し、笑顔で聴いています。その後、発表されたデザインについて交流しました。今日の授業、牟田先生は小グループを活用し、授業の目標に迫りました。



10月16日(木)3h保健体育(1年3・4組)

保健体育の授業は男女別に行います。男子は大本先生のバレーの授業です。バレーボールは技術面で個人差が大きいため、バドミントンのコートを利用し、グループ毎にルールも変え、2対2, 3対3, 4対4のゲームを行っています。全員が上手くなりたいと思っているから、グループ内の会話も真剣です。体育の授業では、体力面、技術面を考慮し、生徒一人ひとりに最も適した指導を行っています。



10月16日(木)3h保健体育(1年3・4組)

女子は保健の授業です。体育の授業の集中力が保健の授業にも出ています。佐井田先生は、聞き慣れない言葉を、具体的な例から分かりやすく説明しています。生徒との距離を変え、生徒一人ひとりの発言を引き出し、それを繋ぎます。生徒の目線から、生徒がお互いの発言を「聴き合う」ことができていることがわかります。

